

## ①学習課題（中学校 1 年生）



### 【国語】

#### <内容>

○教科書の「花曇りの向こう」(P26～P32)を読んで、題名にこめられた意味など、気付いたことや考えたことを家の人に伝えよう。(前週からの継続)

#### <取り組み方>

- ① 三つ目の場面と四つ目の場面を音読しよう。
  - ② 三つ目と四つ目の場面について、次のことに取り組んでみよう。
    - ・「僕」の心情がよく分かる表現を探し、その右横に線を引いてみよう。
    - ・印象に残った表現の右横に線を引いてみよう。
    - ・どのような場面か簡単にまとめてみよう。  
(例)「○○が、△△について、□□する場面」
  - ③ 題名「花曇りの向こう」は、どのようなことを意味しているのか、自分の考えを簡単にまとめてみよう。
  - ④ 三つ目、四つ目の場面について、どのような場面か、印象に残った表現はどれか、理由を添えて家の人に説明してみよう。また、題名「花曇りの向こう」はどのようなことを意味しているか、理由を添えて、家の人に説明してみよう。
- ※①～③に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

## 【社会】

### <内容>

「地球儀」と「世界地図」にはどのような共通点や異なる点があるだろうか？  
教科書などをもとに調べて、取組シートやノートにまとめてみよう。

### <取り組み方>

- (1) 「世界地図」には、いくつかの種類があり、教科書 P21 には、3 種類の地図が載せられています。3 種類の地図それぞれの特徴や使いみちを調べてまとめましょう。
- (2) 「地球儀」の特徴を調べて整理しよう。
- (3) 「地球儀」と「世界地図」を見比べて、それぞれに共通して描かれているものを見つけよう。
- (4) 「地球儀」と「世界地図」を見比べて、異なる点を書きましょう。

### <学習のヒント>

- 教科書は、P18～P21 を参考にしよう。また、「地球儀」や「地図帳」が手元にあるならば、それらも活用しよう。

## 【数学】

### <内容>

数直線を基にして、負の数が入った加法の計算の仕方について考えてみよう。

～マイナスの数をたすことはできるかな？～

### <取り組み方>

- ① 数直線を使って $(+3) + (+4)$ や $(-2) + (-6)$ の計算の仕方を考えよう。
  - ② 数直線を使って $(+2) + (-6)$ や $(-2) + (+7)$ の計算の仕方を考えよう。
  - ③ ①、②の計算前の式と計算した結果を比べてみて、気付いたことを家の人に説明しよう（「取組シート」やノートに説明を書いてもよい。）
  - ④ 正の数、負の数の2数の和について、計算の仕方を符号と絶対値に注目して「取組シート」やノートにまとめてみよう。
- ※考えたことを「取組シート」やノートにまとめてみよう。

### <学習のヒント>

- ① 教科書P22の例1を参考に、符号（「<sup>プラス</sup>+」や「<sup>マイナス</sup>-」）や絶対値がどんなことを表しているか考えてみましょう。数直線の向きについては、P17の11～12行目に書かれています。
- ② 教科書P22の例2を参考に、①と同じように考えてみましょう。
- ③ ①と②のそれぞれについて、計算前の式と計算した結果の符号と絶対値に注目して、どのような計算をしているか考えてみましょう。例えば、計算前の式の符号について、①は同符号、②は異符号になっていますね。
- ④ ③で気付いたことを教科書P24の「重要」を参考に、まとめてみましょう。

## 【理科】

### <内容>

◆下記【グループ1】、【グループ2】の固体の物質を、それぞれ区別するにはどうしたらよいか考えよう。

【グループ1】 P122～123 上部のコップの写真

[ガラス、プラスチック、ステンレス鋼、銀、銅、紙、陶器、木]

【グループ2】 P123 の図2

[砂糖、かたくり粉、食塩]

### <取り組み方>

- ① グループごとに、区別する方法を考えつくだけ書き出してみましよう。
- ② ①の方法をとると、どのような結果になるか予想してみましよう。

### <学習のヒント>

- ① 区別する方法の中で、『理科の実験としてあまり適していない』と思われるものがあれば、チェックしておきましよう。
- ② 結果の予想について、理由・根拠があれば書いてみましよう。
- ③ 身のまわりで気になる商品などについて、原料表示がある場合、知らないものがあったら自分で調べてみましよう。

## 【英語】

### <内容>

教科書 P8～P9「町の中の会話を聞こう」、P10～P11「身の回りにあるものの英語」の絵を見ながら音声を聞いて、次のことに挑戦してみましょう。

### <取り組み方>

音声を聞くことができます



★音声を聞きながら取り組む課題です。

- ① 教科書 P8～P9 の町の絵を見てください。ALT の先生が言うものを指さしましょう。1 回目は、①～⑩までを順番に言います。2 回目は、順番が変わります。
- ② 教科書 P8～P9 の町の絵を見て、先生の後が続いて①～⑩の英語を言きましょう。
- ③ 教科書 P10～P11 のブリックさんのお店を見て、先生が言うものを指さしましょう。1 回目は、1～20 までを順番に言います。2 回目は、順番が変わります。
- ④ 教科書 P10～P11 の身の回りにあるものの絵を見て、1～20 までの英語を、ALT の先生の後が続いて言きましょう。
- ⑤ 教科書 P11 の下段にある、「小学校で使った色と数」について、ALT の先生の後が続いて言きましょう。

★音声がなくても取り組むことができる課題です。

- ① 町 (P8～9) にある「場所」や「建物」の看板かんばんに書かれている文字を読んでみましょう。
- ② ブリックさんのお店 (P10～11) にあるものの中で、「あなたがほしいなと思うもの」はあるかな？商品しょうひんを 2 つ選んで英語で言ってみましょう。  
(ヒント) 小学校で学習した表現を思い出しながら言ってみましょう。  
**I want a cap and a book.**
- ③ 小学校で使った色と数を思い出して、あなたの家にあるもの「色」や「数」を言ってみましょう。何がいくつあるかな？  
(ヒント) 小学校で学習した表現を思い出しながら言ってみましょう。  
**I have a blue bag.**

※「取組シート（外国語）」は、札幌市教育委員会ホームページからダウンロードすることができます。